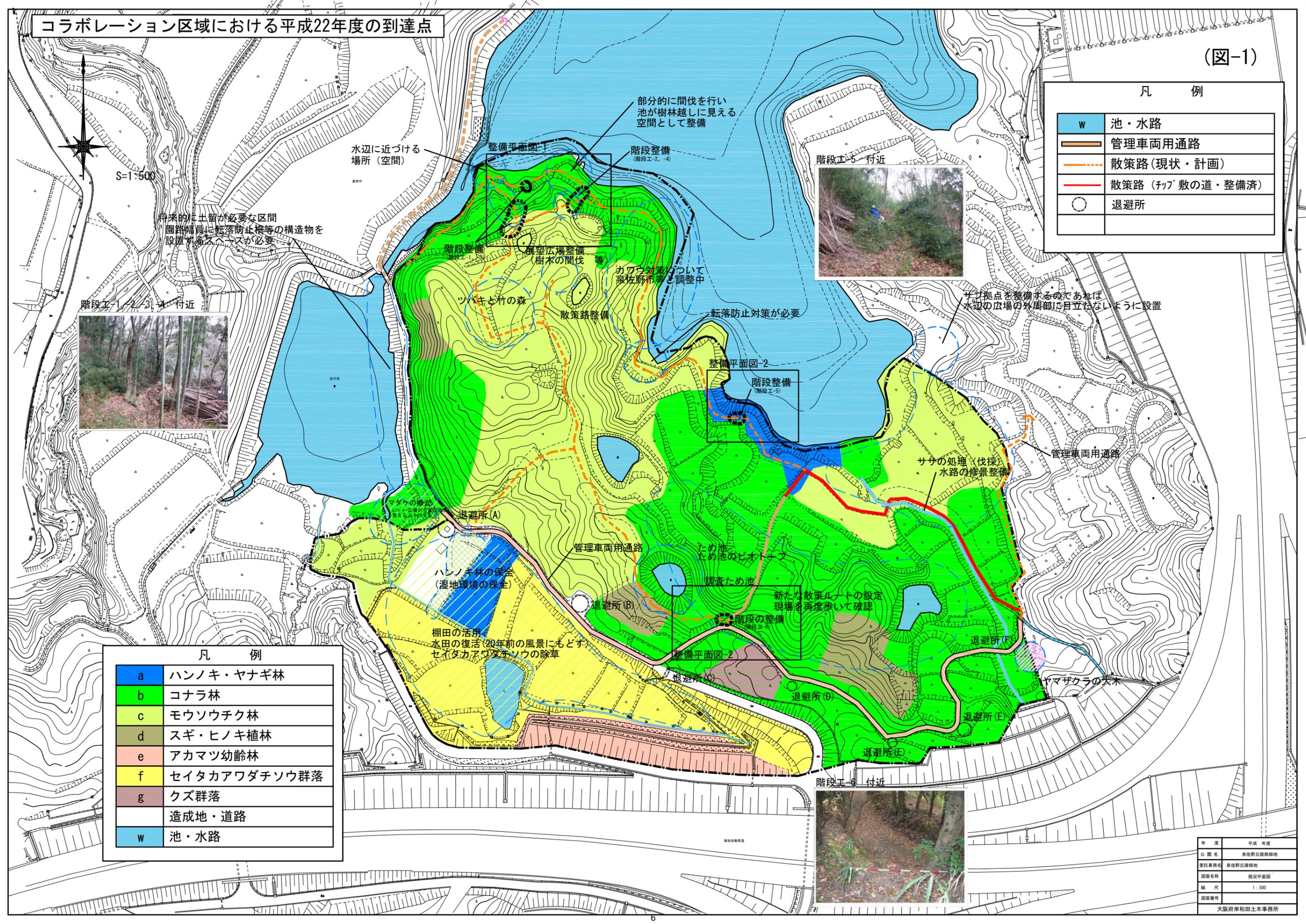


コラボレーション区域における平成22年度の到達点

(図-1)

凡 例

W	池・水路
	管理車両用通路
	散策路(現状・計画)
	散策路(チップ敷の道・整備済)
	退避所



凡 例

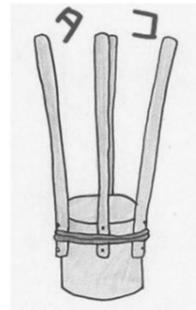
a	ハンノキ・ヤナギ林
b	コナラ林
c	モウソウチク林
d	スギ・ヒノキ植林
e	アカマツ幼齢林
f	セイタカアワダチソウ群落
g	クズ群落
	造成地・道路
w	池・水路

年度	平成 年度
公園名	泉佐野丘陵部緑地
委託業務名	泉佐野丘陵部緑地
図面名称	現状平面図
縮尺	1:500
図面番号	
大阪府岸和田土木事務所	

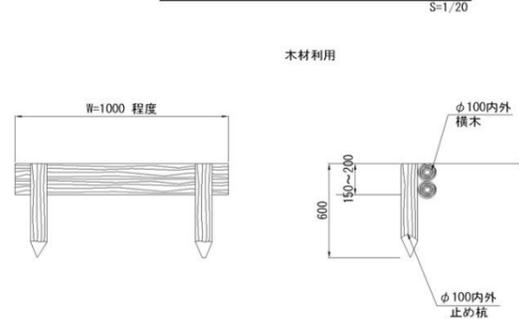
【階段整備の考え方】

階段整備の基本的考え方を以下に整理する。

- 設置位置の決定
 - ・設置位置は、パークレンジャーとの現地ワークショップにより決めた。
- 階段幅
 - ・現場の地形形状を考慮し、1.0m程度とする。
- 使用材料
 - ・階段の使用材料は、公園内で発生した間伐材を利用する。
- 施工上の注意点
 - ・現場の地形形状に合わせて階段を設置する。（出来るだけ土工が発生しないよう、施工時は注意する）
 - ・補修を容易にするため、金具やシュロ縄などは使用しない。
 - ・土の締固めは、人力の締固め道具（タコ）を利用し十分に締め固める。（締固めの厚さは約10cm程度とする）



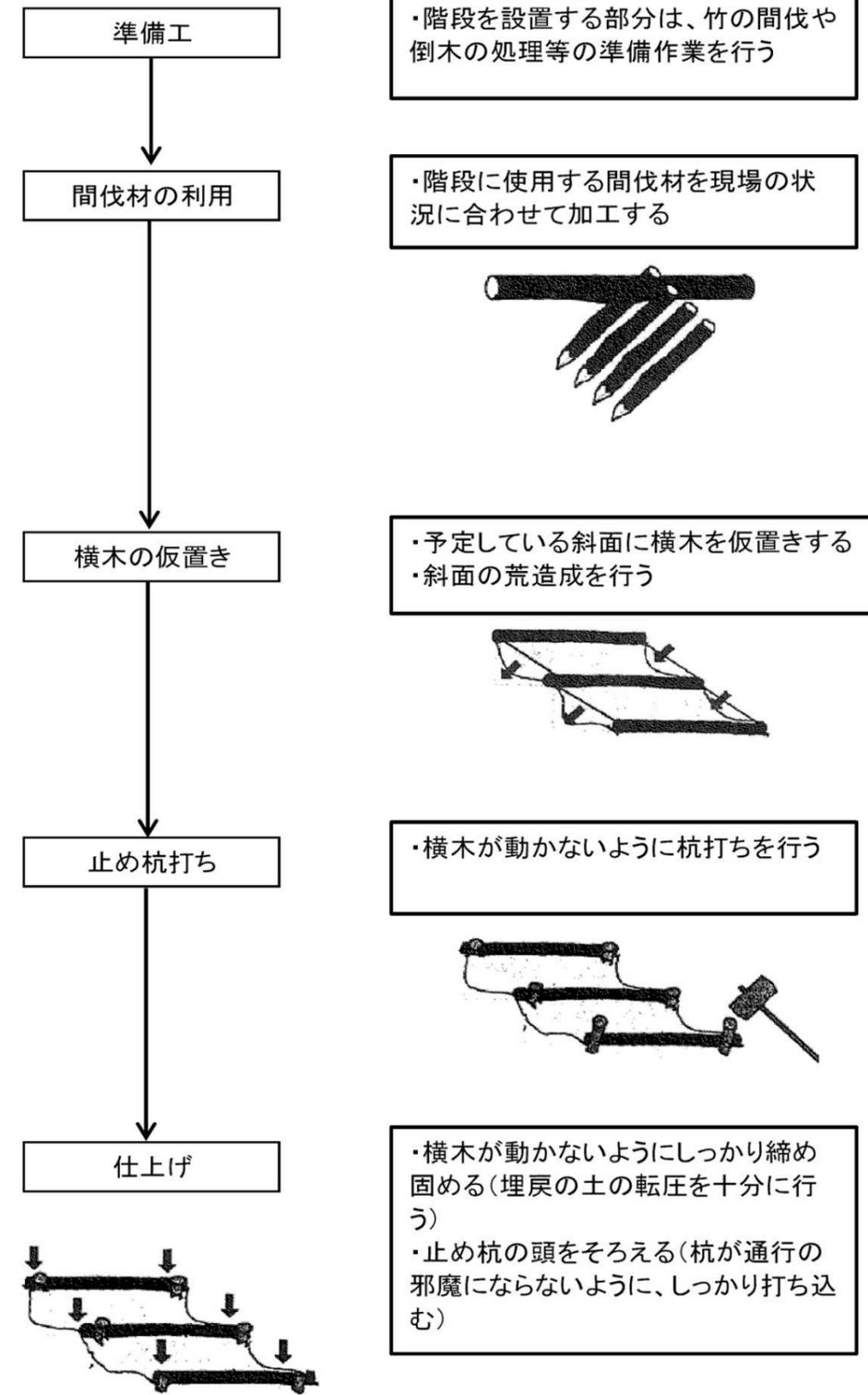
間伐利用階段工詳細図



□ 階段の整備イメージ



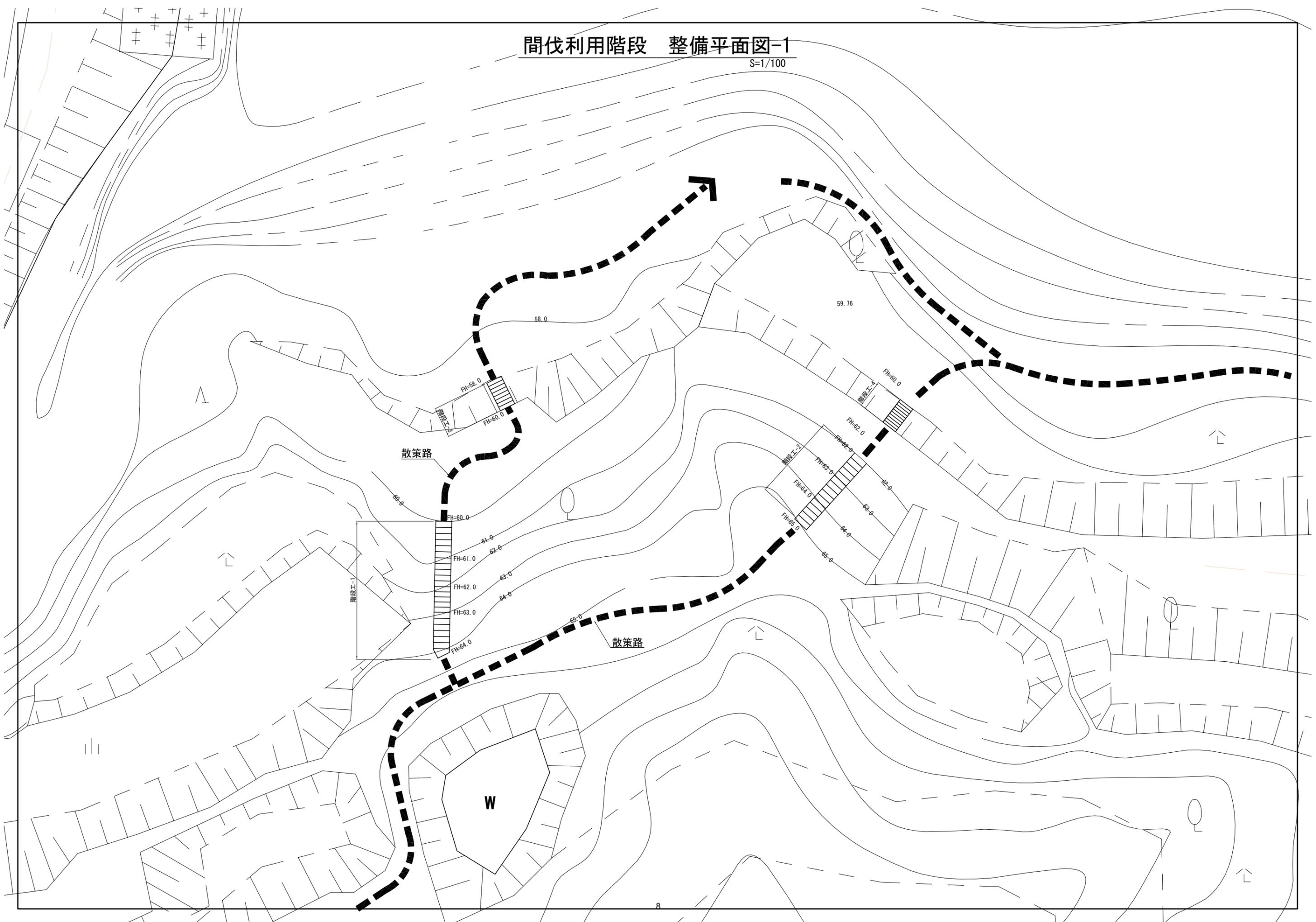
□階段設置の施工手順



※階段の施工は、下段から上段に向かって行う

間伐利用階段 整備平面図-1

S=1/100



間伐利用階段 整備平面図-2

S=1/100

